

習字の「筆っこ」から、キッズ向け硬筆用教材

「筆っこ式ひらがなの教科書」
「筆っこ式もち方かき方練習帳」
をリリース

岐阜県可児市を拠点に「立志塾」を運営する株式会社シルヴァンブリーズ（高木悦夫代表）は、2013年から習字教室「習字の筆っこ」の展開をスタート。そして今年2月から、新たにキッズ向けの硬筆用練習教材「筆っこ式ひらがなの教科書」と「筆っこ式もち方かき方練習帳」をリリースする。

習字は説明不要の圧倒的なコモディティ（日用品的にありふれた）商品。当社では導入から3年で5倍の生徒を集めている」と話す。今回、人気を集めている「筆っこ」のシリーズ商品として発売する「筆っこ式ひらがなの教科書」と「筆っこ式もち方かき方練習帳」は、およそ2年がかりで開発。幼稚園生〜小学2年生を対象としており、5段階に分けて硬筆文字の練習ができるようになっていく。

1段階目では発音することによって音とひらがなを認識。2段階目では、クレヨンでひらがなのカタチを塗りつぶす作業を通じてひらがなの造形に馴染むようになっており、3段階目ではひらがなの始筆と終筆の座標を、シールを貼ることによって覚えることが可能だ。さらに4段階目では鉛筆の正しい持ち方と安定した運び方を学び、5段階目では2〜4段階でつかんだ造形感覚を繰り返しの練習のなかで体得していく。幼稚園生などに始筆と終筆の指導を言葉で伝える

筆っこ式 ひらがなの教科書で学ぶ生徒

